

探究スタートアップ 発見！わたしのモノの見方・考え方

リフレクションツールを使って自分の内面にある価値観や課題意識を発見



概要

探究スタートアップ 発見！わたしのモノの見方・考え方

「探究スタートアップ～発見！わたしのモノの見方・考え方～」とは、リフレクションツール“Self Discovery(セルフディスカバリー)”を使って、これまで気づけなかった自分自身の価値観(モノの見方・考え方)を発見し、そこから社会の様々な事象に対する課題意識(モヤモヤ)を自ら認識できるようにするための授業用教材です。自分の内面にある課題意識に気づくことによって、自己の在り方生き方につながる探究課題を設定できるようになります。

リフレクションの第一人者

監修 熊平美香氏

昭和女子大学ダイバーシティ推進機構キャリアカレッジ学院長。
ハーバード大学経営大学院でMBAを取得後、2015年に一般社団法人21世紀学び研究所を設立し、リフレクションの普及活動を行う。
著書に、『リフレクション 自分とチームの成長を加速させる内省の技術』、『ダイアログ 価値を生み出す組織に変わる対話の技術』がある。



●リフレクションとは？

リフレクションとは、自分の気持ちや考えを認識し、分析することで自分のモノの見方・考え方を発見するプロセスです。「未来を創る力」とも言われており、経済産業省が提唱する「人生100年時代の社会人基礎力」の中でも、あらゆるスキル習得の前提となる力として注目されています。この教材を通して、社会人基礎力の軸となるリフレクションに慣れ親しむことで、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現します。



●「Self Discovery(セルフディスカバリー)」とは？

“Self Discoveryは、自己の内面をリフレクションする際に、思考を可視化し、多面的多角的に、自らの考えを吟味するためのフレームワークです。事実や経験に対する自分の考え方を「意見」「経験」「感情」「価値観」に切り分けて考えることで、自分の内面を多角的に深掘りし、可視化します。自分の考えがどこからやってきたのか。自分は何を大事にしているのか。自分の気持ちは、どのように自分の考えに影響を及ぼしているのか？自分に問いかけることで、自分の考えをより深く理解することができます。

●授業展開 (1コマ:50分)

本教材は、1回50分、全4回の授業で使用します。
実施時期は、探究学習が本格化する前のタイミングを推奨していますが、クラスづくりや旅行行事の事前事後学習など幅広く活用できます。



●教材構成

すぐに授業ができるツールを取り揃えています。



探究スタートアップ 発見！わたしのモノの見方・考え方

リフレクションツールを使って自分の内面にある価値観や課題意識を発見

探究スタートアップの授業内容と探究活動の関係性

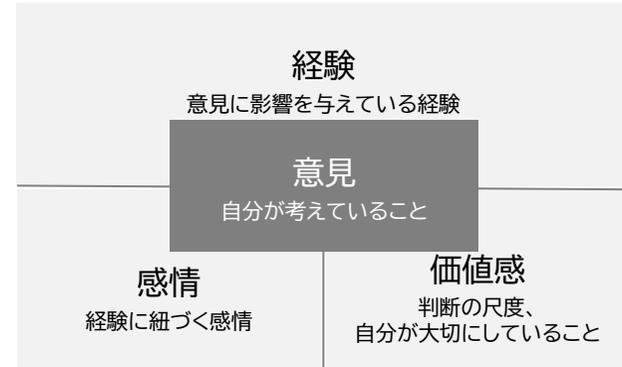
「探究スタートアップ」が、なぜ探究活動の第一歩となりうるのか？
その授業内容を、探究活動での課題感を踏まえてご紹介いたします。

探究スタートアップの授業内容		探究活動の課題感
PRACTICE 01	<p>「違い」から発見する</p> <p>人は異なる『経験』『感情』『価値観』を持っていることで、同じ情報に触れても『意見』が違ふことを知る</p> <p>◆対話ワーク 「あなたにとって〇〇とは？」</p>	<p>探究活動で起きがちな事象</p> <p>探究活動の課題感として、</p> <p>① 課題の設定からつまずいてしまう ② 協働の機運醸成が難しい</p> <p>について、多くの学校で聞かれます。</p>
PRACTICE 02	<p>「共感」から発見する</p> <p>自分の意見は置いたまま、相手の考え方を聞き取ることで、多様な世界に共感できるようになる</p> <p>◆インタビューワーク 「あなたの強み・得意なことは？」</p>	<p>探究活動でつまずくその背景</p> <p>①の背景にある</p> <p>◆ テーマを自分ごと化するの難しい ◆ 自分の関心ごとが明確になっていない</p> <p>②の背景にある</p> <p>◆ コミュニケーション不足 ◆ 仲間のこと(考え)をよく知らない</p>
PRACTICE 03	<p>「強み」から発見する</p> <p>好きなことをさらに深めて、自分でも気づいていないような強みや、自分が大切にしている価値観を認識する</p> <p>◆ 10の#ハッシュタグワーク 「私を象徴する#ハッシュタグ」</p>	<p>探究活動の課題解決の方向性</p> <p>このような探究活動の課題感に対して繰り返しウォーミングアップすることで、</p> <p>◎ 自分のワクワク(関心ごと)やモヤモヤ(課題意識)を再発見 ◎ お互いの価値観を大切にすることができるようになり、協働での活動や探究の課題設定にスムーズに接続できることを目指します。</p>
PRACTICE 04	<p>「モヤモヤ」から発見する</p> <p>自分の価値観が妨げられる状態からモヤモヤが生まれ、その感情を土台に課題意識が生まれることを知る</p> <p>◆違和感ワーク 「私の理想とモヤモヤすること」</p>	

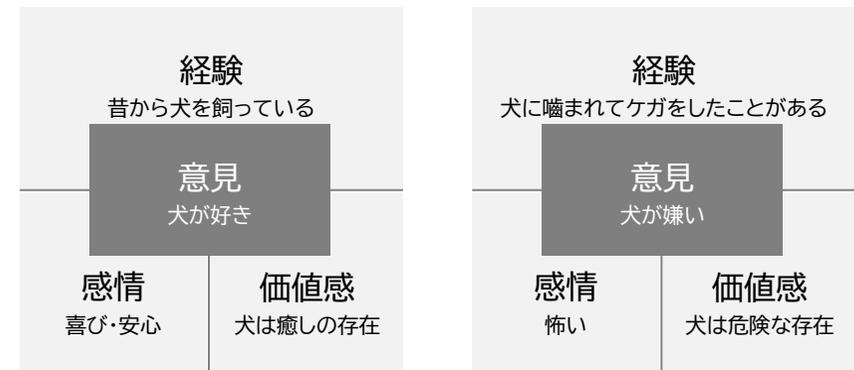
自分の関心ごとや課題意識を起点に、他者との対話を大切にしながら、日常生活や社会の課題を発見できます

自分の見方・考え方を可視化するツール“Self Discovery”

全4回の授業で、リフレクションツール「Self Discovery」を使用します。これは、事実や経験に対する自分の考え方を『意見』『経験』『感情』『価値観』に切り分けて考えることで、自分の内面を多角的に深掘りし、可視化することができるツールです。



例) 同じ犬を見ても、認知は人によって異なります (PRACTICE 01より)



こんな学校におすすめ！

- ◎ 探究活動の第一歩として、生徒の心のウォームアップを行いたい
- ◎ お互いの多様性を認め合い、学び合えるクラスづくりをしたい